資料3-2

議題3 LINEのセグメント配信の活用について（尾張旭市提出）

市名	回答	
	（４）広報担当課以外の情報の配信方法について	（５）友達登録数を増やすための取組みや工夫の内容
名古屋市	・原則、広聴課が各課からの依頼を受けて配信を行っている。 ・防災・災害関連情報、新型コロナウイルス関連情報、職員採用情報、各区からのお知らせについては、関係部署にもアカウントを交付し各課による配信も可能としている。	・トップメニューや市公式LINE上で運用しているチャットボット機能の利便性向上及び改善内容のターゲット向け広報強化 ・大規模災害時用メニューの構築、および訓練の実施 ・学校向けウェブチラシの情報更新の配信（市立学校の全児童・生徒にチラシにて案内）等、事業と連携することによる対象者への広報強化 ・市の広報媒体の活用、LINE広告の出稿　　など
豊橋市	各課によるSNSアカウント取得や発信を制限していません。 （各課で運用ポリシーを定めています。）	ターゲットにとって有益・興味がある情報を一定の頻度で発信できるよう取り組んでいます。
岡崎市	各課から文案をもらい、広報部門で確認・修正し配信。その他、各課で管理している個別のアカウントが２つ（岡崎市保育士・保育所支援センター公式、岡崎市ひとり親家庭支援）と岡崎市公式LINE内で個別に登録できる「子育て応援すくすくLINE」を運用（担当課で配信）しています。	広報紙での周知、窓口での掲示及びチラシ配布 導入当初は、イベント等でフォローキャンペーン（フォローしてくれたら啓発物品配布）を実施
一宮市	各課から広報課に依頼し、広報課から配信 （LINEアカウントを取得し、直接配信している課もあり）	ウェブサイトにLINEの登録方法を掲載
瀬戸市	広報担当であるシティプロモーション課が、依頼を受けて配信しています。	広報紙にPR記事を掲載しています。 瀬戸市ホームページのTOPページにLINEアイコンを掲載しています。
半田市	図書館・博物館・市民交流センターなどの施設が独自でツイッターやインスタグラムなどを活用し、情報発信を行っている。	・ラインのメニュー欄に給食の献立を載せることで、子育て世代の登録者を取り込んでいる。 ・幼稚園や保育園から小学校に入学する４月に、教育委員会の学校メルマガを利用して登録者募集の案内を通知している。
春日井市	各課による配信を可としていない。 広報担当課が配信依頼（配信日時、文案等）を受け配信している。	転入者へチラシの配布、駅デジタルサイネージでの周知等
豊川市	SNSによる情報発信（元気なとよかわ発信課）	
津島市	現状は危機管理課がLINEアカウントの管理者となり、原則、防災関係情報のみを配信しています。 上記（１）のシステム拡張完了後は、シティプロモーション課（広報担当課）を管理者に変更する予定をしていますが、それを踏まえて今後の予定を以下のとおり回答します。 各課単位に拡張システムの操作権限を付与し、各課から直接情報の配信を可能とする予定です。	上記（１）のシステム拡張終了の目途が立ち次第、以下の取り組みを予定しています。 ・周知用のチラシを公共施設等へ設置 ・ふるさと納税の寄附者へ送付する書類に周知用のチラシを同封 ・市関係者が出席する会議で周知用のチラシを一斉配布 ・その他のSNSで公式LINEリニューアルを周知
碧南市	広報担当課が各課の依頼を受け配信しているが、以下の分野は各課から配信を行っている。 ・防災、高齢者捜索に関する配信（緊急を要するため） ・子育て関係施設に関する配信（毎月のイベントなど定期的・定例的なものが多いため）	既存のメール配信システムをLINEに移行することで、登録者数の増加を図っている。
刈谷市	新型コロナワクチン接種に関するお知らせなど、緊急性が高く配信頻度が高いものは広報ではなく、担当課が配信している。 （事前に担当課にログインに必要なIDやパスワード、配信方法を共有）	今年度、LINE公式アカウント運用ツールの導入による機能拡張を行う予定で、市のマスコットキャラクターの無料スタンプの配布や、友達登録用のQRコードを掲載した啓発物品を作成予定。 ※LINE公式アカウント運用ツールの導入に際しセグメント配信も実施予定
豊田市	情報の配信を希望する課が依頼書を提出し、依頼書の内容をもとに広報担当課が配信する。	市民が参加できるイベントの案内など、広く周知する必要がある内容については、広報担当課から依頼書の提出を促すなど、他課と連携した情報発信を推進している。
安城市	各課から配信したい内容があればその都度原稿を提出してもらい、広報広聴係から配信している。	広報紙や成人式の冊子等に友達登録のQRコードを掲載や、抽選でクーポン券等の配布をしている。
西尾市	全ての課が自分たちでセグメントを選択し、メッセージを配信している。	配信時に文字メッセージではなく、リッチメッセージを利用することを推奨している。また、登録者向けのLINEスタンプ配布や、登録者数1万人を記念したプレゼント企画を行った。

議題3　LINEのセグメント配信の活用について（尾張旭市提出）

市名	回答	
	（４）広報担当課以外の情報の配信方法について	（５）友達登録数を増やすための取組みや工夫の内容
蒲　郡　市	広報担当課のみ全体配信、各課はセグメント配信	アカウント開設直後は広報紙に掲載したり、QRコードをプリントしたカードを成人式で配布するなどの取り組みを実施した。新型コロナワクチン接種予約をLINEからできるようにしたことで友達登録者数が激増した。それ以降は特別な取り組みはしていない。
犬　山　市	広報担当課以外の情報配信方法は、「すぐメール（バイザー社）」があるが、災害や防犯等の情報を流すもので、イベントなどは流さない。 各課のお知らせやイベント等は、LINEに集約しており、企画広報課が流している。	・防災訓練など市民が多く集まるイベントで登録を案内するチラシを配布する ・広報紙に登録を促す記事を掲載している ・配信回数が多くなりすぎないように注意する ・同一のもの、似たようなものは複数回流さない ・地区や一部の人だけが対象のものは流さない ・市として発信して意義のあるもののみ流す ・なるべく文字が多くならないようにする（長文にならないようにする） ・見た目が楽しいことも大切だが、年配の方も登録が多いことを年頭においている。
常　滑　市	広報担当課が依頼を受け配信	広報紙等配布物へのＱＲの掲載、チラシの配布及びパネルの窓口への設置など
江　南　市		・成人の集いの参加者に案内を配付 ・フリーペーパーの行政告知欄を活用 ・職員の名刺裏面に、SNSのQRコードが印刷できるようデザイン案を配付
小　牧　市	広報広聴課のみで配信している	セグメント配信登録をしていただいた方を対象に抽選で小牧市ゆかりの商品をプレゼント
稲　沢　市	広報担当課が依頼を受け配信している。その他、警報などの災害情報はすぐメールPlus＋と連携し自動配信している	広報紙に毎号PR記事を掲載、転入者にチラシを配布、市民ホールにポスターを掲示、窓口にて名刺サイズのPRカードを配布、市ホームページトップにカルーセルバナーを配置
新　城　市	広報担当課が依頼を受け、配信。	市民の方に興味のある情報を提供する。 投稿頻度を程度よく行う。
東　海　市	原則LINEで配信する内容は広報課で決定している。内容について、広報課以外の課の場合は、配信内容を担当課に確認をとり、配信している。 また、担当課からLINEで周知したいとの要望があった場合は配信時期と内容を広報課で考慮し、配信している。	・広報紙(毎号)にLINEの友達登録のQRを記載 ・ホームページにSNSの集約ページ作成 ・SNSのチラシを作成し、配布 ・窓口担当課のアクリル板にQR添付【予定】
大　府　市	企画広報課以外の課等が市公式SNSで情報発信したい場合は、掲載原稿申請書を提出してもらっています。	転入届を出す転入者へSNSの登録案内の配布や広報おおぶへの掲載などにより、フォロワーを獲得している。
知　多　市	知多市の広報担当では、市の公式SNS（Facebookや、ツイッター、Instagram、LINE）を管理しており、これらのSNSを用いて担当課以外が情報を発信する場合は、広報への依頼が必要。 なお、歴史民族博物館や、消防本部などの庁外施設では個別でSNSアカウントを作成し、発信しているところもある。	ホームページや広報紙掲載による周知を行っている。
知　立　市	広報担当課が各課からの依頼を受け配信している	配信の内容や頻度の精査、LINEを活用したクーポン事業の実施など
尾 張 旭 市	（本市提出議題）	（本市提出議題）
高　浜　市	・広報担当課に配信文章を送っていただき配信	・広報表紙へ友だち登録のための二次元コードを毎号掲載している。
岩　倉　市	LINEなどの市公式のSNSは、秘書企画課広報広聴グループにて管理している。 LINEで配信したい情報がある場合には、秘書企画課広報広聴グループへ依頼してもらい、秘書企画課広報広聴グループが配信する。	広報紙にて市の公式LINEの活用を促す記事を掲載している。
豊　明　市	各担当課からSNS掲載依頼書を受け取り、広報担当で投稿している。	市民課窓口で転入者へのチラシ配布、二十歳の会での周知。

議題3　LINEのセグメント配信の活用について（尾張旭市提出）

市名	回答	
	（４）広報担当課以外の情報の配信方法について	（５）友達登録数を増やすための取組みや工夫の内容
日　進　市	各課での配信を可としている。LINE上で直接配信を行うのではなく、日進市メール配信サービス「にっしんお知らせめーる」に送信した際、LINEで連携登録している人を対象に一括送信される。	特になし
田　原　市	広報担当課が依頼を受け、LINE投稿しています。	・田原市公式LINE友だち登録キャンペーンを実施（令和5年4月3日～令和5年5月7日の期間で実施し、友だち登録者約500人増加、応募者のうち50名に田原市ゆかりの賞品をプレゼント） ・リッチメッセージを配信することで、投稿の文字量を減らし、見やすいLINE投稿を心掛けています。
愛　西　市	各担当課からの配信依頼を受け、配信を行っている。	チラシの配布（ふるさと納税、成人式　等）
清　須　市	役割分担を実施 ⇒　事業課から配信してほしい情報を広報担当課へ提出。広報担当課は、発信内容と時間を依頼通り実施。	市広報紙・ホームページへ記事を掲載して周知
北名古屋市	広報担当を経由して配信。 原則すべての情報は、一度広報担当へ提出をしてもらっている。	直近では特に無し。 過去には広報紙内に見開き２ページで記事を作成し、アカウントの存在を周知（２回）。
弥　富　市	広報担当課が依頼を受け配信している。	広報誌・ホームページへの掲載 市民が頻繁に訪れる窓口に友達登録を勧める二次元バーコードの掲示 市開催イベントでのLINE友達登録の啓発
みよし市	各課から依頼を受け、広報担当が管理しているInstagram、Facebookで情報発信することがある	現時点では特に無し（令和６年度中に実装したい）
あ　ま　市	配信を希望する課が原稿を作成し、広報担当課（人事秘書課）が依頼を受け配信をしている	市広報紙、市公式ウェブサイトでの周知
長久手市	各課アカウントから直接配信	ポスターの掲出・チラシの配布・市民待合スペースのデジタルサイネージ掲出・卓上ポップの設置